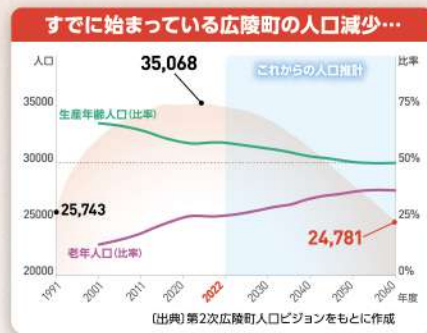


広陵町の人口は、 2060年までに1万人減ります。

これまでの30年間で1万人増えたのと同じペースで次の30年間で減少するわけです。人が増えているとき、税収が増えているときと、減っていく局面では、町政運営の仕方も変わらなくてははいけません。

私は、町民のみなさんとの対話を通じて、広陵町の未来を創ってまいります。



ちぎた慎也の重点政策 (抜粋)

まちづくり

対話でつなぐまち

- 対話集会や情報発信で町民の声が届くまちに

子育て・教育

安心な子育て環境のまち

- 学びの機会や居場所を確保
- 給食費の無償化

高齢者福祉

元気に長生きできるまち

- 独居世帯へアウトリーチ
- 介護予防・健康寿命延伸の強化

経済

なりわいの輝くまち

- 町長自ら町産品の魅力を発信
- “突き抜ける”事業者支援

文化振興

文化のかおり高いまち

- 文化活動や社会教育の環境整備
- 子どもの豊かな感性を育む

行政改革

町民ファーストの役場

- デジタルと窓口どちらも強化
- 業務効率化で町民に還元

広陵町が、人口減少時代に生き残るための
たしかな政策実現をお任せください！

これからの30年に責任を持てる世代として、政策実現に全力を尽くします



発行

〒635-0834 奈良県北葛城郡広陵町三吉478-1
広陵町を元気にする会
Tel.0745-55-7889

<https://shinya-chigita.net/>

政策と活動はこちら

ちぎた慎也の政策や活動は、
ホームページおよびSNSから発信しています。



広陵町を元気にする会 代表
前 広陵町議会議員

ちぎた慎也

次世代!
31歳
町議2期

対話で創る!
CHANGE
町民みんなが輝くまちへ。

広陵町を元気にする会 政策リーフレット

ちぎた慎也

プロフィール

1994年3月23日広陵町三吉(赤部)生まれ。現在31歳。
広陵西小、広陵中、畝傍高、大阪大学法学部卒業。ITベンチャー等を経て
2020年・24年の広陵町議会議員選挙で連続トップ当選(副議長、監査委員などを歴任)。
赤部自警団、広陵町商工会青年部、一般社団法人葛城青年会議所など地域で活動。



町議2期の5年間に広陵町内を駆け回り、地域のみなさんの声を耳にしてきたことで得られた地域の課題認識や現状分析に基づいた、私の各地域における未来へのアクションプラン(一部)をご紹介します。

- ☑ **竹取公園北側の好立地エリアを活かしきれていない!**
民間ノウハウを活用し、“活きる”公園エントランスの実現を。
- ☑ **住宅地の急速な開発による通学路の安全性の確保が課題**
地域の皆さまの協力も仰ぎつつ、確実に安全な通学路を確保する。
- ☑ **包括連携協定による畿央大学との連携促進**
連携プロジェクトを増やし、まちづくりや福祉の観点で
畿央大学のノウハウやリソースを活用していく。
- ☑ **高齢化によるコミュニティ力の低下や
必要な行政サービスの変化**
介護予防等を通じたコミュニティの強化や
地域での見守りの強化。
- ☑ **中和幹線の準工業地域への企業誘致**
国や県とも調整しつつ、雇用を創出できる優良な企業を誘致する。

広陵町役場

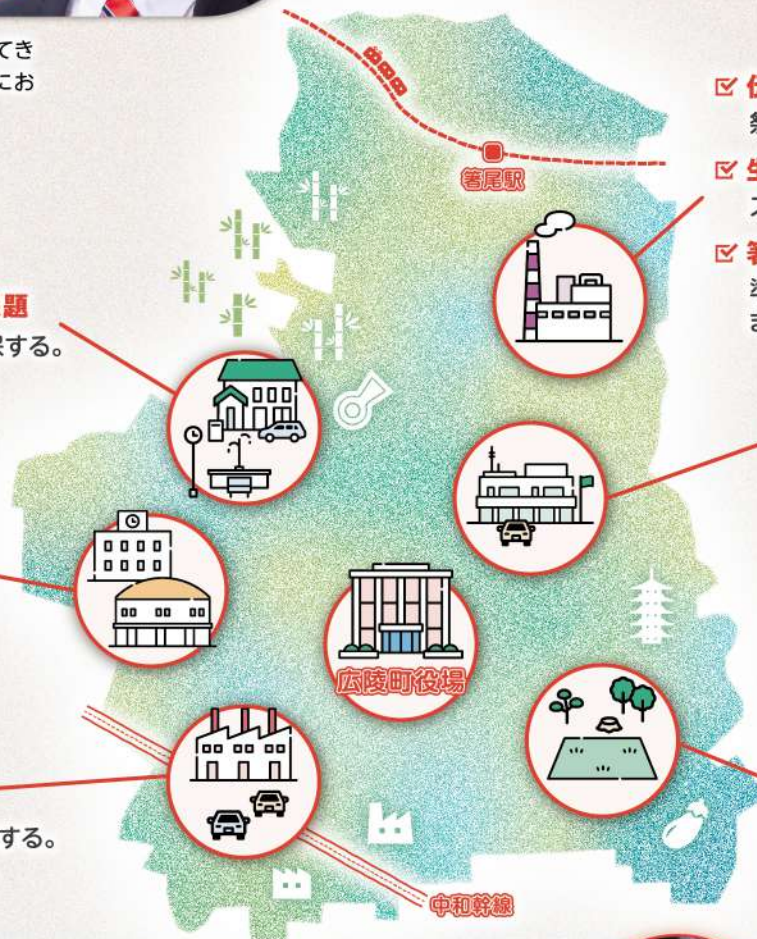
- ☑ **役場庁舎の再編について全町的な議論が不足している…**
 - 👍 **対話集会**を通じて「まちが今後どのようにあるべきか」という観点で捉え直して、役場庁舎の再編について**全町的に議論**を進めていく。
 - 👍 ふと立ち寄りなくなる、**町民ファースト**でオープンな役場に!

町民サービスの質を高めるためには、職員が前向きに働ける環境づくりと、IT技術の活用が不可欠と考え、議会でも一貫して具体的な提案を行ってきました。



箸尾駅周辺

- ☑ **町内唯一の駅周辺が活用されていない…**
 - 👍 **民間ノウハウ**や**国の事業**を活用し、駅周辺に**にぎわい**を創出する!
- ☑ **商店街の本通りに昔の活気がない…**
 - 👍 箸尾準工業地域完成に伴う**人流増加**と既存事業者や建造物を活用した**にぎわいづくり**。



- ☑ **伝統的な戸閉祭りから「お祭りのまち」として浸透**
祭りを活用した持続可能なコミュニティ構築へ。
- ☑ **生活を支える小売店舗の不足**
スーパー等の誘致やデマンド交通等の交通手段の拡充。
- ☑ **箸尾準工業地域完成に伴う周辺交通対策や通学路の安全性**
準工業地域の協議会と密に連携し、安全を確保。
また、工場を生産拠点にとどまらないまちづくりの拠点に。
- ☑ **リレーセンター跡地の活用について**
当初の計画案を尊重しつつ、
現代、そして未来の町民ニーズを満たせるエリアとして
活用するために丁寧に対話を実施。
- ☑ **中央公民館ユーザーの方々の気持ちに寄り添う**
町の事情を説得するだけでなく、対話を通じて
納得感を醸成できる町民が主役のまちに。
- ☑ **担い手不足や物価高により、農業には厳しい状況。しかし、少しずつ若い担い手も…**
続けられる、そして魅力的な農業に!
- ☑ **他の地域へのアクセスには
車か公共交通機関の利用が必須**
どこに住んでも快適に暮らし続けられるまちへ、
丁寧に地域公共交通への課題や要望を吸い上げ
政策に反映していく。
- ☑ **国指定重要文化財である百済寺三重塔を
観光資源として活用しきれていない!**
民間ノウハウを活用した発信、活用策を模索し、
梵字池も併せてより自慢できる地域に!